

### 新年度予算への市長の意気込みは

◎市長に託して、任期最後の予算づくりの時期が来ました。厳しい経済情勢のなか、新年度の予算でどのように市民を守り、活気あふれる三田をつくり出すか？

▲新年度は、市の総合計画の最終年度となり、私が市民の皆さんと約束したマニフェストの点検もこの時期に「子育て、教育の充実」「元気な高齢者づくり」などを重点的に予算を配分します。具体的には、若い子育て世代の転入促進をはかるため、子育て支援の医療費助成、子育て支援施設、学校環境設備の充実、高齢者や小児のフックン接種への助成などの予算化を検討しています。三田の魅力を高め、三田に住みたい、住み続けたいと感じられるまちづくりを展開します。

### 市長、TPPをどう考えますか？

◎市民の「食を守る」観点から、三田・日本の農業に壊滅的な被害が出るTPPに参加すべきではないと思います。市長の見解を伺います。

▲TPPへの参加は、政府として判断されることであり、言及は控えます。しかし、農業をはじめ三田のまちづくりに大きな影響が出る懸念から、動向を注視していきます。  
※TPP：環太平洋戦略的経済連携協定の略称。モノやサービスの貿易自由化だけではなく、政府調達、貿易円滑化、競争政策などの幅広い分野を対象としています。物品の関税を例外なく10年以内に撤廃するとしています。

### ボクにも家族がほしい！ キッピーファミリー

◎三田市のマスコット、「キッピー」に家族を作り、市のイメージアップに役立たせては？

▲新年度で、キッピーファミリーとその仲間たちについて、名前やイラストを市民の皆さんから公募して設定していきます。キッピーは、三田市の観光大使・広報官として市外での活動も積極的に行なっています。また、キッピーグッズも好評です。今後ともキッピーの幅広い活用をしていきたいと考えています。



### 多重債務者の生活再建を

◎税金などを払えない人で多重債務におちいる人が増えています。生活再建をまず行うことで税の滞納問題も解決しませんか？

▲多重債務問題については、生活保護世帯への個別支援プログラムやまちづくり協働センター消費生活相談に対応しています。現在、多重債務者の生活再建への支援について、まちづくり協働センターを中心に情報交換などの庁内連絡会議の設置を検討中です。

▲なお、市税などの滞納については、高額で処理困難な事案については、債権管理課で管理しているほか、債権取納に關係する14課で構成する公金取納対策委員会を設置して対応しています。

### 職につく就業 三田市の雇用対策は？

◎長引く不況の影響を受け、高卒者に対する求人が大幅に減っています。市は、どのような雇用対策をしていますか？

▲今年度の三田の高卒就職率は86.9%と大変厳しい状況です。そこで、市は職業安定所と共同で商工会とテクノパークの企業に対して新規卒者の採用要請を一度行いました。昨年11月には、製造業を中心にした就職面接会を実施。この2月には介護、福祉関連企業を対象とした面接相談会を予定し、雇用環境の悪化をくい止めたいと考えています。開発が始まった第2テクノパークではハローワークと連携しながら企業誘致を進めています。

### 生ごみ堆肥化に何ができる？ 市民のついでがらひは？

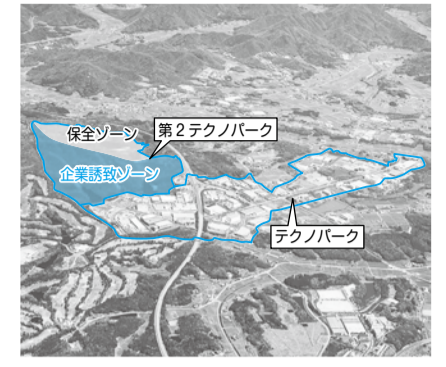
◎ごみ削減計画「新・さんだスリムビジョン」では、生ごみ堆肥化をしている市民同士の情報交換ネットワークをつくるとなっていますが、どうなっていますか？

▲市では、家庭ごみの減量及び資源の有効利用を図るために、生ごみ処理容器等の購入補助を実施しており、生ごみの堆肥化を呼びかけていますが、堆肥化に取り組む市民相互の情報交換のためのネットワークは整っておりません。今後は、生ごみの堆肥化に関心の高い方を対象とした、生ごみ堆肥化の講習会を開催し、情報交換の機会をつくらせていきます。

### あなごころー 子どもたちの交通安全は？

◎通学路の安全対策について、特に池尻地区内の県道上荒川三田線には歩道がない区間があり、子どもたちが危険です。歩道設置に向けた状況はどうなっていますか？

▲県道の管理者（兵庫県）に問い合わせたところ、歩道未整備区間約1.2キロメートルにおいて、本年度から測量設計業務に着手して新年度から用地買収・工事着手の予定と聞いています。この路線は近年、交通量が増加し、歩行者の安全確保が必要なことから、今後機会があるごとに県に要望を行うていきます。



### 補修費がかかむ公共下水道の統合を！

◎年々痛む公共下水道のメンテナンスや農業集落排水を公共下水道に統合してはどうか？

▲市内8箇所の農業集落排水施設と3箇所のコミュニティプラント施設では、耐用年数の経過とともに大規模な補修の時期が来るかと想定されます。

# 議員の質問

議員は、議会の本会議で、市政についての疑問点や将来の方針を幅広く質問します。

12月定例会では、13人の議員が質問に立ちました。

### 三田駅前再開発Bブロック いよいよ本登場

◎地元組合が特定業務代行者の募集をしていたところ、規模を縮小して事業提案をした企業があったと聞きました。市の負担はどのくらいですか？

▲昨年10月、地元準備組合が募集していたBブロック事業を一括して事業推進する特定業務代行者に長谷工コーポレーションから事業提案がありました。同社の提案は、全体の規模を当初の3分の2とし、地上14階、1階は店舗、2階以上は住宅です。規模縮小に伴い、道路を含め市の負担額は約9億7千万円に減りました。全体事業費は当初の10.8億円が約60億円に減っています。



### 心配です。まちの空家…

◎市内の持ち家について、転居などにより空家が増えるの思っています。そこで空家を子育て世代に貸す制度など有効利用してはどうか？

▲住宅は、所有者による適切な管理が求められます。しかし、何らかの理由で長期間空家になることで防災・防犯面で近隣の住民の方に不安を与えることとなります。そのようなことから、昨年11月から南北横コミュニティ開発センターが、「留守宅巡回サービス」を実施しています。また所有者の意向にもありますが、空家を有効に活用することは地域の活性化にもつながります。行政の役割、方策を検討していきます。

### みんなで自治会 みんなでまちづくり

◎地域で人と人とのきずなをつくるために自治会のはたす役割は重要です。しかし、市民の自治会離れが進み、自治会だけでは対策ができないと思います。自治会の加入促進、退会防止は市にとっても大きな課題です。昨年から区長・自治会長連合会が作成した加入促進チラシを市民課で転入された方に配布しています。また、市のホームページに自治会活動などの掲載や、市内の自治会ホームページの紹介を行うなど自治会の魅力発信に取り組んでいます。今後、住宅などの建築主や開発事業者に対してチラシを配布するなど、市として自治会加入を積極的に支援していきます。

### 自分の地域の安全 自分たちの手で

◎地域コミュニティ防災活動の現状について伺います。また、防災士の資格などを持つ市民の会「三田防災リーダーの会」と連携の現状は？

▲市内では、48の自主防災組織が結成され、それぞれ防災訓練を実施していただいています。市としては、地域からの要望によって火災消火訓練や避難

### 便利になるかも ネットで図書館

◎インターネットで蔵書を読むことができる電子図書館が注目を集めています。コストとスペースの削減ができると思います。現在、携帯型端末の普及やケータイ小説の流行など出版や流通に大きな変化がみられます。自治体の図書館としてもIT技術の動向をみて、サービス充実と効率的な運営に取り組む必要がありそうです。電子図書館については、蔵書スペースの削減やコスト削減などの効果と合わせてシステムや管理経費などを研究していきま

### 給食費の集金 市で集められませんか？

◎小学校や中学校では「学校徴収金」として給食費を学校で集めています。この事務が学校現場を圧迫していることから市で徴収できるようにすべきだと考えます。

▲公会計になれば、教育委員会から保護者へ直接給食費を請求し、口座振替などで集金することがになります。メリットとしては、口座振替手数料の保護者会からの保護者へ直接給食費を請求し、口座振替などで集金することがになります。メリットとしては、口座振替手数料の保護者



訓練などの実施に関わっています。防災リーダーの会の連携についても、市28か所の一時避難所に設置している防災倉庫の器具点検などを通じて連携強化を図っています。

### 良くなった？南が丘地区

◎市は国土交通省の交付金を活用して南が丘地区や市営住宅周辺の整備をしてきました。その結果をどのように評価していますか？

▲南が丘地区は、老朽化した市営住宅や道路、水路、下水などに課題があったため平成16、20年度にかけて一体的に整備しました。整備計画に掲げた「暮らしの豊かさ度」「集会所の利用率」「住民活動の参加率」「歩行者空間の満足度」の各指標の効果を判断するためアンケート調査を行いました。その結果高い住民満足度が確認でき、地域にとっても三田市にとっても良い整備ができたと考えています。

### 三田を花ごころに 花の咲くまちづくり

◎今年5月に「全国花のまちづくり三田大会」が開催されます。これを機に深田公園を花の基地として活用できませんか？

▲花のまちづくりコンクール推進協議会」からの依頼があり、今年5月に第17回全国花のまちづくり地方大会を三田市で行うことになりました。深田公園は、フラワータウンの中心部にあり、駅からも近く、人と自然の博物館も隣接していることから大会を契機として記念花壇の設置場所として検討を進めているところです。

### 子どもたちのフックン接種をさらに充実を

◎国が定期接種化をめざしてフックン接種への補助を予算化しました。細菌性髄膜炎から子どもを守るために小児用肺炎球菌ワクチン接種をしてください。

▲昨年11月、「田高・テフレ」対応のための緊急総合経済対策」として、予算額がなんどのフックン接種促進を含む補正予算が成立しました。小児用肺炎球菌ワクチンなどの接種事業は、市の重点施策である子育て支援策として重要と考えており、できる限り早い時期に国の制度に基づいた接種補助事業を実施していきます。

### 命をつなぐ 臓器提供意思表示カード

◎命をつなぐため、多くの人々が臓器提供の意思を表すことが必要です。三田市では、国民健康保険証の裏面に臓器提供の意思表示欄を設けています。一人でも多くの方に登録していただけたらと思います。

▲臓器移植法の改正により、臓器提供意思表示カードのほか、例えばは運転免許証などへの意思表示の記載が可能になりました。三田市では、法改正の趣旨を踏まえ平成22年12月から交付している国民健康保険者証の裏面に臓器提供の意思表示欄を設けています。一人でも多くの方に登録していただけたらと思います。

